

コース内容 一般内科

研修責任者

和田 順世 (日本内科学会認定医)

指導医

許 瑞美 (日本内科学会認定医、糖尿病学会専門医)

萩原 政夫 (日本内科学会認定医、血液学会専門医)

中野 邦夫 (日本内科学会認定医、呼吸器学会専門医指導医)

三枝 弘志 (日本内科学会認定医)

一般目標

一般内科研修では、幅広い疾患(以下記す)を対象とし、個々患者の抱える問題点に対して的確に対応しえる知識、技術、態度などを身につけ、プライマリケア医としての実力を身につけることを目標とする。

具体的目標

1. 3ヶ月間において病棟患者10~20名程度受け持ち、指導医と共に責任を持った診療にあたる。

2. 週間スケジュール

(1) 初診外来 :全体カリキュラムに準ずる。

救急外来当番 :全体カリキュラムに準ずる。

その他時間は原則として病棟業務

(2) 新入院患者カンファレンス 1回/週

総合内科外来カンファレンス 2回/月

当科では幅広い、しかも診断に苦慮する症例・稀な症例などを担当する機会が比較的多く、内科地方会などで積極的に症例発表していただきます。

3. 病棟や外来業務で担当する具体的症例

(1) 血液内科疾患 急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄瘍、貧血疾患 など

(2) 感染症疾患 呼吸器感染症、尿路感染症、消化器感染症 伝染性単核球症、
他ウイルス疾患全般 など

(3) 糖尿病・内分泌疾患 糖尿病の教育入院やインスリン導入患者、甲状腺疾患
二次性高血圧 など

(4) 脳神経疾患 脳卒中、髄膜炎 など

(5) 膠原病・アレルギー疾患 各種膠原病、薬剤過敏症 など

コース内容 腎臓内科

研修責任者

酒巻 雄一郎 (日本内科学会認定内科専門医)

指導医

酒巻 雄一郎

目標

腎臓学会、透析医学会で定められている疾患を経験し、研修カリキュラム評価表の自己評価欄に記入する。その理解と認識を研修責任者が評価し記入する。

日本腎臓学会、日本透析医学会、腎疾患に関連のある研究会に積極的に出席し、発表(投稿)も行う。

日本内科学会認定医(可能なら専門医)を取得し、最終的には日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医取得を行う。

日本腎臓学会専門医受験資格条件

- (1) 学会入会5年以上経過。
- (2) 日本内科学会認定医取得後2年経過。
- (3) 当院を含む腎臓学会指定研修病院で3年以上研修していること。

日本透析医学会専門医受験資格条件

- (1) 日本内科学会認定医を持ち、臨床経験5年以上経過または当院を含む透析医学会認定施設にて5年以上臨床経験がある。
- (2) 学会が定める透析各疾患の研修カリキュラムを達成していること。
- (3) 日本透析医学会での学会発表と複数の参加があること。(30単位)
- (4) 学会に入会して5年経過もしくは、内科認定医を持っていれば入会3年経過。

行動目標

- (1) 以下の検査、手技が自らできる。
腎生検 ダブルルーメンカテーテル挿入 (内シャント穿刺)
透析のプライミング 超音波(腎、膀胱)
- (2) 腎疾患(血液浄化適応疾患を含む)全般を理解し、治療方針を立てられる。
- (3) 後輩研修医の教育が出来る。
- (4) 学会誌や腎病理組織学、臨床の教科書は日ごろより読む習慣をつける。